

用 地 課

用 地 係

用 地 係

国土庁が発表した地価公示によると、年間における市内の標準地の地価変動率は、平均7.2%の下落となった。

これは、日本経済の低成長が依然として続き、金融機関における融資の規制も厳しくなり、投機目的の土地取引が減少している結果と思われる。

昨年に比べても、地価の下落は続き、商業地、住宅地ともに底の見えない状況にある。

しかし、住宅用地については、金利、税制の両面から住宅取得の促進が図られているため、取引自体は活発になってきている。

公共事業を円滑に推進していくためには、その事業に必要な用地を迅速かつ確実に取得していかなければならないが、地価は、この数年間下落を続けたとはいえ依然として高値であるため、積極的に土地を売る気配がなく、たとえ公共事業であっても土地所有者にメリットがない場合は、協力を得るのに困難な状況にある。

このような状況の中で、本年度は、下の川緑地（仮称）新設事業用地、福生駅西口市営駐車場（仮称）用地のほか道路用地等を取得した。

名 称	買 収 用 地				物 件 等 補 償		備 考
	所有者数	筆 数	面 積	金 額	所有者数	金 額	
下の川緑地（仮称） 新設事業	1 ^人	5 ^筆	5,833.79 ^{m²}	1,066,994,930 ^円	1 ^人		公社から買戻し
福生駅西口市営駐車場 （仮称）新設事業	1	1	370.00	262,368,564			〃
市道1125号線外1改良 事業	2	2	182.40	70,392,863	1	870,938	公社から一部 買 戻 し
市道1137号線改良事業	1	1	73.85	16,985,500	1	14,693,677	
市道田園71号線改良事業	1	2	142.85	17,856,250			
道路整備事業代替用地 取得事業	1	1	8.64	3,291,840			公社から買戻し
市道50号線拡幅改良事業	1	1	25.53	2,253,222			市道改良事業 （狭あい道路分）
市道9号線拡幅改良事業	2	3	2.41	420,931			〃
市道幹線Ⅱ-14号線外 拡幅改良事業	2	1	6.32	1,598,960			〃
市道262号線外拡幅改良 事業	1	1	10.65	960,546	1	259,143	〃
市道幹線Ⅱ-4号線 拡幅改良事業	1	1	1.49	368,030			〃
市道1137号線拡幅改良 事業	1	1	2.56	317,808			〃
市道1074号線拡幅改良 事業	2	2	9.09	375,417			〃
市道237号線拡幅改良 事業	3	2	36.92	1,653,652	1	3,406,436	〃
市道231号線拡幅改良 事業	8	9	42.27	2,864,106			〃
市道1081号線拡幅改良 事業	2	5	47.93	13,178,950			〃
市道1076号線拡幅改良 事業	1	1	9.62	887,658			〃
市道200号線改良事業					1	1,835,272	〃
市道1259号線改良事業					1	275,436	〃
市道1006号線拡幅改良 事業					1	609,000	〃
合 計	31	39	6,806.32	1,462,769,227	7	21,949,902	